

平成 2 0 年度 農作物病虫害発生予察 7 月月報

平成 2 0 年(2008年) 8 月 5 日
山 口 県 病 害 虫 防 除 所

気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 ()								
	平 均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
7.1	25.0	24.3	0.7	28.6	28.4	0.2	22.0	20.8	1.2
7.2	27.4	25.1	2.3	33.7	29.3	4.4	22.1	21.6	0.5
7.3	27.4	25.7	1.7	32.7	30.0	2.7	23.5	22.2	1.3
7.4	29.0	26.3	2.7	34.3	30.7	3.6	25.3	22.6	2.7
7.5	29.1	26.8	2.3	33.8	31.4	2.4	25.7	23.0	2.7
7.6	29.9	27.1	2.8	35.3	31.8	3.5	25.9	23.3	2.6
平均・計	28.0	25.9	2.1	33.1	30.3	2.8	24.2	22.3	1.9
月・半旬	平均湿度 (%)			降水量 (mm)			日照時間 (h)		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
	7.1	80	82	2	42.5	68.1	25.6	14.3	22.0
7.2	69	80	11	0.0	59.7	59.7	50.2	24.1	26.1
7.3	74	81	7	1.0	55.4	54.4	28.3	25.7	2.6
7.4	72	79	7	0.5	46.8	46.3	39.0	28.4	10.6
7.5	72	77	5	16.0	36.9	20.9	33.4	31.5	1.9
7.6	70	77	7	4.0	35.4	31.4	46.7	40.3	6.4
平均・計	73	79	6	64.0	302.3	238.3	211.9	172.0	39.9

作物の生育状況

- (1) イネ : 草丈・茎数は平年を上回り、葉色は平年並～やや濃かった。出穂期はやや早くなる見込みである。
- (2) ダイズ : 播種作業は順調であったが、一部連続降雨による播種遅延があった。干天により生育量はやや小さく、開花期は平年並～やや遅かった。
- (3) カンキツ : 果実の肥大は平年並みであった。
- (4) ナシ : 果実の肥大は平年並みであった。

病害虫の発生概況

1 普通作物

2008年7月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イネ 葉いもち	<p>初発生は、7月1日(平年6月25日)に阿東町篠生で認められ、平年に比べ遅かった。</p> <p>中旬の巡回調査では、発生ほ場率3.5%(平年19.0%)、発病株率0.2%(平年7.7%)、発病度0.1(平年2.1)で平年に比べ少なかった。病斑は停滞型で、最上位病斑の葉位は2.7葉(前年2.0葉)であった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率12.8%(平年36.5%)、発病株率5.5%(平年15.9%)、発病度1.4(平年4.2)で平年に比べやや少なかった。病斑は停滞型で、最上位病斑の葉位は3.1葉(前年2.4葉)であった。</p>	県内全域	<p>中 559</p> <p>少 2,517</p> <p>計 3,076</p>
紋枯病	<p>初発生は7月27日(平年7月8日)に山口市大内で認められ(第4葉鞘)、平年に比べ遅かった。</p> <p>中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年3.7%)、発病株率0%(平年0.4%)、発病度0(平年0.1)で平年に比べ少なかった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率2.3%(平年17.9%)、発病株率0.2%(平年2.8%)、発病度0.1(平年0.8)で平年に比べ少なかった。</p>	県内全域	少 559
ごま葉枯病	<p>初発生は7月28日(平年7月29日)に田布施町城南で認められ、平年並みであった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率2.3%(平年2.4%)、発病株率0.2%(平年1.0%)、発病度0.1(平年0.3)で平年並みであった。</p>	県内全域	少 559

2008年7月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イネ 縞葉枯病	初発生は7月1日(平年7月13日)に長門市油谷で認められ、平年に比べ早かった。中旬の巡回調査では、発生ほ場率7.0%(平年0%)、発病株率0.5%(平年0%)で平年に比べ多かった。下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.8%(平年0.2%)、発病株率0.9%(平年0.02%)で平年に比べ多かった。	県内全域	多 280 少 1,391 計 1,671
白葉枯病 萎縮病 ばか苗病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	-	-
ツグヨコバイ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率25.6%(平年33.3%)、10株当たり虫数2.1頭(平年1.4頭)で平年に比べやや多かった。下旬の巡回調査では、発生ほ場率47.7%(平年39.3%)、10株当たり虫数1.2頭(平年1.1頭)で平年並みであった。	県内全域	中 280 少 11,186 計 11,466
ヒメトビウンカ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率37.2%(平年25.8%)、10株当たり虫数1.9頭(平年0.4頭)で平年に比べ多かった。下旬の巡回調査では、発生ほ場率80.2%(平年33.1%)、10株当たり虫数4.2頭(平年0.8頭)で平年に比べ多かった。	県内全域	多 280 中 839 少 18,177 計 19,296
セジロウンカ	5月11日～7月29日の予察灯(4か所計)における誘殺数は20頭(平年4,722頭)で平年に比べ少なかった。まとまった飛来は認められなかった。下層ジェット気流等の気象条件と予察灯、ネットラップの誘殺状況から6月21日(少)、7月2日(少)、4日(少)頃に飛来があったと推測された。中旬の巡回調査では、発生ほ場率55.8%(平年72.1%)、10株当たり虫数2.8頭(平年18.2頭)で平年に比べやや少なかった。下旬の巡回調査では、発生ほ場率84.9%(平年75.9%)、10株当たり虫数7.0頭(平年35.6頭)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 20,415

2008年7月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イネ トビイロウンカ	5月11日～7月29日の予察灯(4か所計)における誘殺数は2頭(平成29.8頭)で平年に比べやや少なかった。 飛来は6月9日(少)頃に認められた。その後は認められなかったが、6月21日、7月2日、4日頃に下層ジェット気流が発達した時期があった。 中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成5.2%)、10株当たり虫数0頭(平成0.12頭)で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成11.3%)、10株当たり虫数0頭(平成0.3頭)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	-
コブノメイガ	山口市マレーズトラップにおける7月1日～30日までの捕獲成虫数は5頭(平成81.9頭)で平年に比べ少なかった。 飛来はほとんど認められなかったが、6月21日、7月2日、4日頃に下層ジェット気流が発達した時期があった。 中旬の巡回調査では、発生ほ場率1.2%(平成23.4%)、被害株率0.7%(平成2.4%)、被害葉率0.001%(平成0.11%)、20回払い出し虫数は0.05頭(平成1.06頭)で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率43.0%(平成63.5%)、被害株率3.4%(平成19.8%)、被害葉率0.1%(平成1.9%)、20回払い出し虫数は0.1頭(平成2.6頭)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 10,347
イモシロアザミ (イモシロ)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率5.8%(平成7.9%)、10株当たりつと数0.07(平成0.05)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.1%(平成11.5%)10株当たりつと数0.27(平成0.13)で平年に比べやや多かった。	県内全域	多 280 中 280 少 3,076 計 3,636

2008年7月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)												
イネ 斑点米カメムシ 類	<p>中旬の雑草地20回すくい取り調査では、79.9頭(平成47.4頭)で平年に比べやや多かった。</p> <p>下旬の雑草地20回すくい取り調査では、67.8頭(平成73.0頭)で平成並みであった。主要種の発生は、アサジカミカ37.2頭(平成36.5頭)、ケヅカミシ19.7頭(平成21.0頭)、ホヰカミシ8.8頭(平成7.5頭)でアサジカミカやケヅカミシが優占した。</p> <p>巡回調査地点のうち、出穂した1ほ場の40回すくい取り調査では、ケヅカミシ8頭、アサジカミカ4頭が認められた。</p> <p>6月1日～7月25日の予察灯(県内4カ所)における誘殺数は、ケヅカミシ3頭(平成11頭:少)、アサジカミカ868頭(平成358頭:多)、アサゲホヰトリスミカ(イホヰトリスミカ)8頭(平成55頭:やや少)で平年に比べやや多かった。</p>	県内全域	-												
ニカメイガ	<p>中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成0%)、被害株率0%(平成0%)で平成並みであった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成0.6%)、被害株率0%(平成0.09%)で平成並みであった。</p> <p>5月～7月29日の予察灯誘殺数は少なく、明確なピークは認められなかった。</p> <p>【参考】予察灯誘殺(5月～7月29日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点名</th> <th>本年(頭)</th> <th>平成(頭)</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>萩</td> <td>0</td> <td>9.0</td> <td>平成並</td> </tr> <tr> <td>下関</td> <td>0</td> <td>7.1</td> <td>平成並</td> </tr> </tbody> </table>	地点名	本年(頭)	平成(頭)	評価	萩	0	9.0	平成並	下関	0	7.1	平成並	県内全域	-
地点名	本年(頭)	平成(頭)	評価												
萩	0	9.0	平成並												
下関	0	7.1	平成並												
フタオビコヤガ	<p>中旬の巡回調査では、発生ほ場率3.5%(平成2.3%)、株当たり虫数0.03頭(平成0.02頭)で平成並みであった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.7%(平成1.7%)、株当たり虫数0.02頭(平成0.02頭)で平成並みであった。</p>	県内全域	少 1,119												
イネクロカメムシ	<p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率1.2%(平成0.8%)、25株当たり虫数0.01頭(平成0.01頭)で平成並みであった。</p>	県内全域	少 280												

2008年7月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)																												
ダイズ ハスモンヨトウ	<p>山口市大内のフェロモントラップによる7月の誘殺数は、1,202頭(平年1,699頭)で平年並みであった。</p> <p>フェロモントラップでの7月の誘殺数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年 (頭)</th> <th>平年 (頭)</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩国市周東町</td> <td>58</td> <td>140</td> <td>やや少</td> </tr> <tr> <td>周南市</td> <td>199</td> <td>499</td> <td>やや少</td> </tr> <tr> <td>阿東町</td> <td>269</td> <td>384</td> <td>平年並</td> </tr> <tr> <td>萩市</td> <td>35</td> <td>186</td> <td>やや少</td> </tr> <tr> <td>下関市</td> <td>100</td> <td>1153</td> <td>少</td> </tr> <tr> <td>柳井市</td> <td>328</td> <td>844</td> <td>前年より少</td> </tr> </tbody> </table> <p>岩国市～萩市は7月1～4半旬、 下関市と柳井市は7月1～6半旬の合計 下関市の平年値は過去4年の平均値 柳井市は前年値との比較。</p>	地点	本年 (頭)	平年 (頭)	評価	岩国市周東町	58	140	やや少	周南市	199	499	やや少	阿東町	269	384	平年並	萩市	35	186	やや少	下関市	100	1153	少	柳井市	328	844	前年より少	県内全域	-
地点	本年 (頭)	平年 (頭)	評価																												
岩国市周東町	58	140	やや少																												
周南市	199	499	やや少																												
阿東町	269	384	平年並																												
萩市	35	186	やや少																												
下関市	100	1153	少																												
柳井市	328	844	前年より少																												
吸実性カミシ類	6月1日～7月25日の予察灯(4か所計)における誘殺数はイモシカミシが14頭(平年13.2頭)で平年に比べやや多かった。	県内全域	-																												

2 果樹

2008年7月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
カンキツ (調査ほ場数:22) そうか病	下旬の巡回調査では、発病ほ場率9.5%(平年27.5%)、発病果率0.4%(平年2.7%)、発病度0.2(平年0.8)で平年に比べ少なかった。	県内全域	少 169
黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率90.4%(平年96.8%)、発病果率34.4%(平年50.8%)、発病度5.3(平年8.2)で平年に比べ少なかった。	県内全域	中 337 少 1,264 計 1,601
かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率14.3%(平年24.2%)、発病果率1.6%(平年3.4%)、発病度0.3(平年0.9)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	中 84 少 337 計 421
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率54.5%(平年46.6%)、寄生葉率7.6%(平年6.9%)平年に比べやや多かった。	県内全域	多 80 中 80 少 804 計 964

2008年7月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
カンキツ チャバネアオカメムシ	下旬の巡回調査では、被害発生ほ場率23.8%(平成36.1%)、被害果率0.2%(平成1.3%)、被害度0.1(平成0.3)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 402
ナシ ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率14.3%(平成14.1%)、寄生果率1.1%(平成0.6%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 161 少 80 計 241
ナシ (調査ほ場数:10) 黒斑病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率60.0%(平成84.0%)、発病葉率1.9%(平成2.7%)、発病新梢率17.1%(平成33.0%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	中 23 少 117 計 140
黒星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0%(平成3.0%)、発病葉率0.3%(平成0.03%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 23
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成9.0%)、寄生葉率0%(平成1.2%)で平年並みであった。	-	-
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20%(平成9.0%)、寄生新梢率1.3%(平成0.1%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 23 少 23 計 46
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、ツヤカメムシ、ツギカメムシ)	7月1半旬～7月5半旬の予察灯(5か所計)における誘殺数は187頭(平成610頭)で平年並みであった。優占種はチャバネアオカメムシであった。 フェロモントラップ(県内4か所)によるチャバネアオカメムシ7月の誘殺数は、平年並みであった。	県内全域	-

(参考)7月のチャバネアオカメムシフェロモントラップ誘殺数(本年は5半旬までのデータ)

	2008年	2007年	2006年	2005年	2004年	2003年	2002年
阿東	536	162	686	10	8119	17	2509
秋芳	595	158	3571	2	13434	1	11656
山口落試 1	392	187	671	-	3673	0	4406
山口農試 2	215	210	935	8	3639	6	2801

1農林総合技術センター-落葉果樹試験地
2農林総合技術センター-本場

3 野菜

2008年7月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)																												
野菜、花き類 アブラムシ類	山口市大内の黄色水盤トラップによる7月の誘殺数は、51頭(平年61頭)で平年並みであった。	県内全域	-																												
オオタバコガ	山口市大内のフェロモントラップによる7月の誘殺数は、6頭(平年15頭)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	-																												
ハスモンヨトウ	<p>山口市大内のフェロモントラップによる7月の誘殺数は、1,202頭(平年1,699頭)で平年並みであった。</p> <p>フェロモントラップ^oでの7月の誘殺数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年 (頭)</th> <th>平年 (頭)</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩国市周東町</td> <td>58</td> <td>140</td> <td>やや少</td> </tr> <tr> <td>周南市</td> <td>199</td> <td>499</td> <td>やや少</td> </tr> <tr> <td>阿東町</td> <td>269</td> <td>384</td> <td>平年並</td> </tr> <tr> <td>萩市</td> <td>35</td> <td>186</td> <td>やや少</td> </tr> <tr> <td>下関市</td> <td>100</td> <td>1153</td> <td>少</td> </tr> <tr> <td>柳井市</td> <td>328</td> <td>844</td> <td>前年より少</td> </tr> </tbody> </table> <p>岩国市～萩市は7月1～4半旬、 下関市と柳井市は7月1～6半旬の合計 下関市の平年値は過去4年の平均値 柳井市は前年値との比較。</p>	地点	本年 (頭)	平年 (頭)	評価	岩国市周東町	58	140	やや少	周南市	199	499	やや少	阿東町	269	384	平年並	萩市	35	186	やや少	下関市	100	1153	少	柳井市	328	844	前年より少	県内全域	-
地点	本年 (頭)	平年 (頭)	評価																												
岩国市周東町	58	140	やや少																												
周南市	199	499	やや少																												
阿東町	269	384	平年並																												
萩市	35	186	やや少																												
下関市	100	1153	少																												
柳井市	328	844	前年より少																												

お問い合わせは山口県病害虫防除所へどうぞ

電 話	0 8 3 - 9 2 7 - 4 0 0 6
F A X	0 8 3 - 9 2 7 - 4 0 7 1
テレホンサービス	0 8 3 - 9 2 7 - 4 6 4 9

作物	担当者
普通作	藤村(病害) 中川(虫害)
果 樹	村本(病害) 殿河内(虫害)
野 菜	岡田(病害) 溝部(虫害)